

## 匹見地域協議会（第2回）会議次第

日時 平成29年8月25日（金） 13:30～  
場所 匹見タウンホール 集会ホール

出席者（委員） 藤谷 一剣・齋藤 惟人・大谷 文男・西川 友史・大久保純子  
溝田 洋子・村上 巴・河本 亮・齋藤 光・齋藤 幸士

（益田市） 山口支所長・藤井住民福祉課長・藤井地域づくり推進課長・露口建設課長  
事務局（桐木・小田）

1 開会

2 会長あいさつ

3 【報告事項】

（1）新市建設計画の執行状況について <資料 1>

（2）匹見地域活性化基金について <資料 2>

4 その他

次回開催 平成29年 月 日（ ） 時 分～

# 会議報告書

主催者名	匹見総合支所住民福祉課
会議名	平成29年度 第2回 匹見地域協議会
開催日時	平成29年8月25日(金) 13時30分～15時45分
開催場所	匹見タウンホール 集会ホール
出席者	・ 匹見地域協議会委員(8名) ・ 匹見総合支所：山口支所長 住民福祉課：藤井課長、桐木補佐、小田 地域づくり推進課：藤井課長 建設課：露口課長

## 【会長あいさつ】

私事であるが、先日家の中に熊が入った。何も被害はなかったが、安心して住んでおられない。住民に注意を呼びかけるなど考えて頂きたい。本日の議題は2つ。皆様のご意見を伺いながら次に活かして頂きたいというふうに思っている。

## 【報告事項】

### (1) 新市建設計画の執行状況について <資料1 各課長より説明>

- ・平成27年5月に市長あてに提出した新市建設計画の執行状況に関する意見書について、各事業の進捗状況を説明。

《質疑・意見》

### 匹見タウンホールの改修について

- 支所の改修は、支所側だけおこなうのか？タウンホールも含めておこなうのか？
  - ▷今年度は美都支所で耐震化工事が実施されている。匹見支所の耐震化工事は来年度を目指していたが、財源的な調整もあり来年度実施は難しい状況である。現時点ではタウンホール側の耐震化は計画に入っていない。
- タウンホールは不特定多数の住民が利用するため、支所と合わせてタウンホールも耐震化に合わせ改修をおこなうべきではないか。
  - ▷当初はタウンホールの新たな建設ということも計画の中にあつたため耐震化の中に含まれていない。現在新たな建設ということは財源的に非常に厳しい状況であるため、耐震化工事や改修をおこなう中で維持を図っていくことが現実的であると考え検討を始めたところである。

### 本庁と支所の関係について

- 旧匹見町のことは支所が政策立案をしていかないと本庁は取り上げないのか。本庁と支所が協議をしながら進めていくのか。現在は今までの流れを踏襲しながらやっていくような感じで新しい政策というのが1つも出てきていないように感じる。
  - ▷情報量の違いなどもあり支所の中で政策立案し物事を主体的、主導的に進めていくことが難しい。また全体的な予算管理の面からしても、事業査定を受けランク付けされた中では予算要求もできな

いような厳しい状況がある。そういう中で3月にも市長が支所と支所機能の見直しということをおこなわれた。支所が中心となっていかなければなかなか難しいということがあるので、本庁の関わりをもう少し強めながら地域政策を進めていくという考え方が必要となってきたと考えている。

●総合支所というのは名ばかりでその実態が無くなっているのではないかと。自発的な政策をこれまでできてこなかったというふうに認識している。

▷本庁では匹見地域の事は匹見でという思いがあるが、支所にしっかりとした情報や権限、予算があるかという点と必ずしもそうではなく、非常に中途半端な状況の中で物事が進めづらいという実態があると感じている。本庁で責任を持ち匹見地域の政策を進めていくという意識を持ってもらう必要があるのではないかと感じている。

### **事業のため取得している用地について**

●事業をおこなうためすでに取得した用地がある。建物の建設が無理なら整備して公園のような形にするなど、他の活用方法も検討していくべきではないか。

▷計画されていた事業がかなり大型なプロジェクトであり、財政的な事情で当初の計画の形で事業を進めることは困難であるという状況もみえてきている。以前は活用されていたが現在は遊休となっている用地もある。こういったものの活用あるいは処分も含め方針は出していないとけないと考えている。難しいことではあるが事業の方向性なども合わせて考えながら整備を図っていきたい。

### **ひきみりフレッシュ構想について**

●ひきみりフレッシュ構想の現在の状況はどうなっているか。

▷中山間総合整備事業に計画を載せる段階で国ともかなり調整が図られた。一旦は計画に載せ、その後の条件として市単独でのグラウンドゴルフ場の整備ということがあった。中山間総合整備事業の計画期間である31年度までのグラウンドゴルフ場の事業化は財政面などで困難であるという状況から、28年度において交流の里事業の中止について県に報告している状況である。

●中山間総合整備事業での実現が難しいのであれば他の事業を研究し実現に向けて考えるべき。匹見地域にとって交流の里は大切な事業である。

●交流の里事業の用地については、もう何年も草刈りをおこなうだけである。予算を使って草を刈るだけなら、他の利用を考えていった方がよいのではないかと。

▷多額の投資をして作ったけれど利用が無く管理に困っているという実態も他の地域ではあったように聞く。匹見地域にとって必要なものが何なのかよく見極めたうえで大きなプロジェクトであれば動かす必要があると考えている。

### **財産区について**

●匹見財産区の活用については匹見が主導的に事業展開されるべきであると考えているが、今後の財産区の活用について具体的な計画は現在あるのか。

▷財産区の管理については財産区管理条例に基づき財産区管理会の中で決定されていくことになる。有効活用を図る上では環境や防災などの面で市は考えなければならない。

▷財産区管理委員の中でも山をそのままおいておくのではなく有効活用すべきという意見がある。実際に木を売ればいくらになるかという調査を市で進めているところである。

### **意見書の見直しについて**

●財政カットされている中ではいくら要望しても実現は厳しい。いくつか事業を絞っていくなど、今後どうしていくのか協議していく必要があるのではないかと。

- 意見書の中にはあまりにも実現不可能な項目など色々入っているので、実現できそうな項目に絞り込んで改めて意見書として出す等検討していった方がよいのではないか。
  - ▷ 意見書全体を実現していくのは非常に大きな高い山だと感じる。課題を絞っていった方がより実現性が高まるのではというふうに考える。予算取りのための事業査定の中でその事業の必要性や維持可能な事業であるかを含め様々な検討がされる。そのためにも事業を絞り選定していくような議論を是非お願いしたい。

## (2) 匹見地域活性化基金について <資料2 住民福祉課長より説明>

- ・資料2に沿って説明。

### 《質疑・意見》

- 保育所の修繕について、基金を使わないと修繕できないのか？一般財源で対応すべきではないのか。
  - ▷ 一般財源で対応したいが、シーリング枠の関係で一般財源が無理であれば基金を使わせていただきたい。
  - ▷ 以前から要望があった施設の改修であったが、予算要求をしてもなかなか予算がつかなかった。保育所内にある段差の解消にかかる経費であり子供たちの安全に関わることであるため、基金を活用してでも急いで対応する必要があるのではという判断をしたところである。
- 澄川プールの濾過機やトイレの修繕にかかる経費はどうか？基金を使って修繕すれば良いと言う住民もいる。
  - ▷ 濾過機の修繕に約180万円、トイレの修繕に50万円の見積もりとなっている。29年度予算要求では9%のシーリングがかかった中に収まらず、検討した結果、中央プールを利用する方向性を出した。

### 【その他】

- 期成同盟会の会長は地域協議会の会長が兼務することになっていることから、期成同盟会として島根県へ対し道路改良の要望をおこなった。8/23には益田県土整備事務所へ、8/24は島根県庁へ行き、匹見峡温泉からレストパークまでの2車線化と、元組から三葛への県道の狭い箇所改良と、488号線通行止め区間に関する振替を早期の解決を要望してきたところである。
- 次回開催予定：10月末から11月予定